



『 がんの薬の話 』

がん細胞は、正常の細胞と違い、無秩序に増え、他の正常な細胞に影響を与えることが知られています。そのため、がんは早期発見、早期治療が必要です。

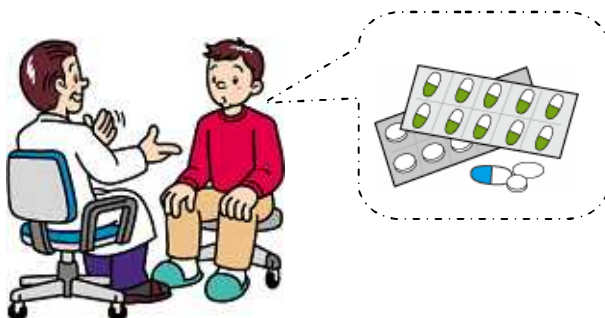
治療としては、がん細胞を体から排除するための手術や、がん細胞が増えるのを抑えるための放射線治療や抗がん剤が使われる場合があります。

抗がん剤については、以前から使用されているものは、がん細胞にも有効でしたが、正常な細胞にも影響を与えることがありました。

しかし、最近発売された薬の中には、がん細胞が無秩序に増える原因に働くものや、がん細胞が栄養を得るための血管作りを抑えるなど、がん細胞の性質を利用した薬があります。

このように、抗がん剤は、がん細胞に対する効果が期待できる反面、それぞれの薬で特徴的な副作用や、生活面への影響など、気をつけなければならない側面もあります。

抗がん剤については、患者さんだけでなくご家族にも理解していただく必要がありますので、治療を受ける際は、ご家族も一緒に医療スタッフから詳しい説明を聞かれることをお勧めします。



鹿児島県厚生連
薬剤科長
佐多 照正